

## 2019年度 野島青少年研修センター 事業計画一覧表

体系		事業名	内 容	実施時期 (回数)	備考
A 青少年 活動を 支援す る事業	あ： 施設の 貸与	施設・設備貸出 事業	施設の安全性、利便性を高めるため、利用団体の活動目的や特性を配慮し、プログラムをサポートします。 (1) 事前相談における丁寧な対応、柔軟なコーディネート (2) 利用者の利便性の向上のための物品販売 (3) 研修センターでの体験活動に役立つ情報（服装・気象等）の発信【拡充】	通年	
		利用促進事業	多くの青少年や青少年指導者に活動や研修の機会を提供することによって、利用促進を図ります。 (1) 高校・大学を対象とした広報 (2) 親子参加型の事業を通じた利用促進【新規】	(1) 通年 (2) 1回	
	お： 調査、 資料収集	体験プログラムの調査研究	青少年の成長に効果的な独自の体験プログラムを提供するため、体験プログラムを調査、検証します。 ・体験プログラム実施校・団体を対象としたアンケート調査、検証	通年	
B 青少年 を支え る人材 を育成 する事業	い 講座セ ミナー 育成	青少年指導者 育成者研修	青少年指導者・育成者の活動支援を目的とした講習会の実施と、青少年の体験活動や研修で活用できる情報を提供します。 ・実践的な指導者・育成者対象講習会の実施	年1回	
		ボランティアの 養成	青少年の体験活動を支える体制づくりをめざし、高校生からシニアまでの幅広い層にボランティア活動機会を提供し、活動を支援します。 (1) 青少年を対象とする施設ボランティアの養成 (2) 市民を対象とした事業や体験プログラムでのボランティアの受け入れと支援 (3) シニア世代ボランティアが活躍するための養成講座の実施【新規】	(1) 通年 (2) 通年 (3) 年1回	
C： 青少年 に体験 機会や 活動の 場を提 供する 事業	う： 体験活 動等	体験プログラムの 提供	利用者のニーズや学校の教育カリキュラムに応じた体験プログラムを提供します。 (1) 施設特性を活かしたプログラムの提供 (2) 自然環境を活かしたプログラムの提供 (3) 地域産業との連携によるプログラムの実施	通年	
		市民活動団体と の協働事業の実 施	青少年に安全かつ充実した体験機会を提供するため、市民活動団体と協働して事業を実施します。また周辺の環境保全にも取り組みます。 (1) 自然体験キャンプの実施 (2) 自然・文化体験教室の実施 (3) 野島海岸の保全活動	(1) 年3回 (2) 年2回 (3) 年4回	
		困難を抱える青 少年のための体 験活動支援	困難を抱える青少年がコミュニケーション能力の向上や自信回復を図れるよう、生活体験や集団活動の機会を他団体と連携して提供します。 (1) 不登校児童生徒の宿泊体験の実施 (2) 障がいのある児童生徒の宿泊体験の実施 (3) 困難を抱える青少年を対象とした宿泊体験や日帰り活動の支援	(1) 年1回 (2) 年1回 (3) 通年	
		地域交流事業	施設の活動及び青少年育成活動への理解を深めてもらうため、事業連携を通じて近隣地域との交流を深めます。 (1) 地域住民と連携した事業の実施 (2) 地域連携会議の開催 (3) 地域や地域で活動するNPO団体と連携した防災への取り組み	(1) 年26回 (2) 年2回 (3) 通年	

## 《目標設定時公表項目》 横浜市野島青少年研修センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	安全性を高めるため、研修センターでの体験活動に役立つ情報を、HP等を活用して発信します。 利便性を高めるためアメニティグッズ等宿泊に必要な物品を販売します。	①HPによる体験活動等に必要な情報の発信：海活動に適した服装・持ち物案内、体験プログラム毎の活動マニュアル ②物品販売利用者数：300人
業務運営	青少年に安全かつ充実した体験の機会を提供するために、地域住民や市民活動団体と連携しながら、利用者ニーズや教育カリキュラムに応じたプログラムを提供します。	①体験プログラム種目数：32種目以上（提案書最終年度目標 30種目） ②体験プログラム参加者数：22,000人以上（提案書最終年度目標 15,000人） ③施設利用者数：31,000人（提案書最終年度目標 30,000人） ④体験学習校利用件数：90校以上（提案書最終年度目標 80校） ⑤地域と連携した防災事業の実施：4回
職員育成	施設管理や体験活動の質や効果を高めるため、職員が研修を通じて必要な専門知識を学び、安全管理能力や企画や研修の知識を向上します。	①防災・避難誘導訓練の実施：2回 ②救急法(AED等)の研修：1回 ③外部専門研修へ各職員1回以上参加
財務	体験プログラムの提供数の増加による事業収入の増	事業収入 5,450万円 (提案書 31年度予算 5,450万円増)

## 《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組(改善計画)
利用者サービス	安全性を高めるため、研修センターでの体験活動に役立つ情報を、HP等を活用して発信します。 利便性を高めるためアメニティグッズ等宿泊に必要な物品を販売します。	①HPによる体験活動等に必要な情報の発信：海活動に適した服装・持ち物案内、体験プログラム毎の活動マニュアル ②物品販売利用者数：300人			
業務運営	青少年に安全かつ充実した体験の機会を提供するために、地域住民や市民活動団体と連携しながら、利用者ニーズや教育カリキュラムに応じたプログラムを提供します。	①体験プログラム種目数：32種目以上 ②体験プログラム参加者数：22,000人以上 ③施設利用者数：31,000人 ④体験学習校利用件数：90校以上 ⑤地域と連携した防災事業の実施：4回			
職員育成	施設管理や体験活動の質や効果を高めるため、職員が研修を通じて必要な専門知識を学び、安全管理能力や企画や研修の知識を向上します。	①防災・避難誘導訓練の実施：2回 ②救急法(AED等)の研修：1回 ③外部専門研修へ各職員1回以上参加			
財務	体験プログラムの提供数の増加による事業収入の増	事業収入 5,450万円			

## (1) 保守管理業務

## ア 建築物の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	点検計画
外部仕上げ	外壁、屋根、地面など	日常点検	毎日実施
内部仕上げ	壁面、天井、床など	日常点検	毎日実施

※点検内容：仕上げ材の浮き、ひび割れ、はがれ、かびの発生、美観の維持

## イ 建築設備の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	協定書回数・頻度	点検計画	
空気調和 関連設備	空気調和機	定期点検	月1回以上	12回	
	全熱交換機			12回	
	パッケージ型空調機			12回	
	ヒートポンプエアコン			12回	
	ファンコイルユニット			12回	
	空調換気扇			12回	
	その他ポンプ類			随時	
	冷却塔			12回	
	冷温水・冷却水ポンプ			12回	
	送・排風機			12回	
電気関連設備	受変電設備	定期点検	週1回以上	毎週実施	
	配線設備（幹線・分電盤等）				
	負荷設備（制御盤・電動機等）				
	負荷設備（照明・コンセント等）				
	配線通信線路				
	構内交換設備				
	外灯設備				
自家発電設備					
給排水衛生設備	受水槽・高置水槽	定期点検	月1回以上	12回	
	揚水ポンプ・加圧給水装置			12回	
	給湯器・貯湯槽・熱交換器			12回	
	衛生器具類			12回	
その他の 設備管理	ガス設備	定期点検	月1回以上	監視装置にて 常時監視	
	消防設備			月1回以上	12回
	自家用電気工作物			月1回以上	監視装置にて 常時監視
	中央監視装置			年2回以上	5月、11月
	濾過装置			年4回以上	6月、9月、12月、3月
	エレベータ設備			月1回以上	12回
	自動ドア設備			年3回以上	5月、9月、1月

環境衛生管理	空気環境測定	定期点検	年6回以上	5月、7月、9月、 11月、1月、3月
	排ガス測定		年2回以上	5月、11月
	水質検査		年2回以上	7月、1月
	簡易専用水道検査		年1回以上	8月
	ねずみ・衛生害虫駆除		年2回以上	9月、3月
	ダニ及び害虫駆除		年1回以上	6月、9月、3月
	受水槽清掃		年1回以上	7月
	雑排水槽清掃		年2回以上	4月、10月
	汚水槽清掃		年2回以上	4月、10月
	浴槽レジオネラ菌属検査		年2回以上	8月、3月

## ウ 備品等の保守管理

項目	協定の内容	計画
備品の保守管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施

## (2)環境維持管理業務

### ア 清掃業務

項目	対象・範囲	協定書の回数	計画
日常清掃業務	館内	1日2回以上	毎日2回以上実施
	公園及び側道	1日1回以上	毎日1回以上実施
定期清掃業務	床清掃（洗浄・ワックス清掃等）	月1回以上 （夏休み期間を除く）	12回
その他の清掃業務	カーペット清掃	年1回以上	3月
	窓枠・窓ガラス清掃	年4回以上	6月、9月、12月、3月
	網戸清掃	年1回	2月
	厨房穴ステンレス及びタイル壁面清掃	年1回以上	10月
	照明器具及び給排気口清掃	年1回以上	10月、2月
	ブラインド清掃	年1回以上	1月
	厨房ガラスフィルター清掃	年1回以上	6月、9月、12月、3月

### イ 保安警備業務

項目	対象・範囲	協定の内容	計画
有人警備	建物及び敷地内（9:00～17:00）	研修センター内の秩序を維持し、火災等の災害や盗難、破壊等の犯罪の発生を警戒、防止し、来所者の安全をはかり、財産の保全をはかる。	開館日に実施
宿直警備	宿直日（17:00～翌9:00）		宿泊利用日に実施
機械警備	非宿直日（17:00～翌9:00）		非宿泊日に実施

## 施設の長期保全更新計画案

施設名:横浜市野島青少年研修センター

No.	更新項目	内容	実施年度		備考
			2019年度	2020年度以降	
1	シリンダー錠交換	宿泊室のドア 90箇所		○	100万円
2	自動ドアベルト交換	経年劣化のため交換	◎		10万円
3	空気調和機(ACU-2) 外気処理用修繕	エアハンドリング (加湿器フィルター)		◎	110万円
4	吸収冷温水機(ビクターホール系 統) 部品交換	プロテクトリレー等の不具合		○	65万円
5	吸収冷温水機(一般室系 統) 部品交換	真空管関連部品の交換	◎		60万円
6	第1研修室ファンコイル三方弁交 換	開閉の不具合(開きっぱなし)	○		25万円
7	ゴミコンテナ交換	3基 廃棄処理含む		○	1台10万円
8	厨房流し台修繕6台(@35万)	建具修繕(引出し、扉、化粧板)、 対象6台		○	210万円
9	カニ倉庫ドア交換修繕	アルミドアに交換	○		50万円
10	南側裏口門扉前の排水	水が排水溝に流れない	○		公園との調整
11	屋上床のフカフカ(浮き)			○	
12	門扉修繕	駐車場門扉、裏口門扉		○	
13	宿泊室壁紙修繕	25室ベッド廻り壁面・天井 40箇所		○	
14	食堂柱塗装工事			○	

◎早急な対応が必要 ○実施予定

## 2019年度 「野島青少年研修センター」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	77,577,000		77,577,000		77,577,000	横浜市より 目的外使用料・目的外使用分電気代除く
利用料金収入	15,300,000		15,300,000		15,300,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	4,950,000		4,950,000		4,950,000	
自主事業収入	100,000		100,000		100,000	法人寄附金
雑入	500,000	0	500,000	0	500,000	
印刷代	20,000		20,000		20,000	
自動販売機手数料	400,000		400,000		400,000	自販機、売店賃料、電気料金含む
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他 (ランドリー収入)	80,000		80,000		80,000	
<b>収入合計</b>	<b>98,427,000</b>	<b>0</b>	<b>98,427,000</b>	<b>0</b>	<b>98,427,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>34,368,000</b>	<b>0</b>	<b>34,368,000</b>	<b>0</b>	<b>34,368,000</b>	(施設連携事業費含む)
給与・賃金	27,942,000		27,942,000		27,942,000	(施設連携事業費1,034,000.-含む)
社会保険料	4,864,000		4,864,000		4,864,000	(施設連携事業費542,000.-含む)
通勤手当	1,100,000		1,100,000		1,100,000	(施設連携事業費309,000.-含む)
健康診断費	70,000		70,000		70,000	(施設連携事業費10,000.-含む)
勤労者福祉共済掛金	42,000		42,000		42,000	(施設連携事業費6,000.-含む)
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000		350,000	(施設連携事業費67,000.-含む)
<b>事務費</b>	<b>3,007,000</b>	<b>0</b>	<b>3,007,000</b>	<b>0</b>	<b>3,007,000</b>	(施設連携事業費含む)
旅費	0		0		0	
消耗品費	2,015,000		2,015,000		2,015,000	利用者用トイレトーパー、洗剤、蛍光灯等の施設管理消耗品を含む (施設連携事業費121,000.-含む)
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	160,000		160,000		160,000	(施設連携事業費11,000.-含む)
通信費	52,000		52,000		52,000	(施設連携事業費2,000.-含む)
使用料及び賃借料	300,000	0	300,000	0	300,000	
横浜市への支払分	300,000		300,000		300,000	目的外使用料
その他	0		0		0	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	180,000		180,000		180,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	0		0		0	
リース料	200,000		200,000		200,000	コピー機リース料
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
<b>事業費</b>	<b>5,405,000</b>	<b>0</b>	<b>5,405,000</b>	<b>0</b>	<b>5,405,000</b>	(施設連携事業費含む)
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	5,305,000		5,305,000		5,305,000	(施設連携事業費305,000.-含む)
自主事業費	100,000		100,000		100,000	野島クリスマスキャンプ負担金
<b>管理費</b>	<b>51,335,000</b>	<b>0</b>	<b>51,335,000</b>	<b>0</b>	<b>51,335,000</b>	
光熱水費	15,876,000	0	15,876,000	0	15,876,000	
電気料金	7,276,000		7,276,000		7,276,000	目的外使用分電気代除く
ガス料金	4,300,000		4,300,000		4,300,000	
水道料金	4,300,000		4,300,000		4,300,000	
清掃費	11,000,000		11,000,000		11,000,000	
修繕費	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
機械警備費	250,000		250,000		250,000	
設備保全費	13,207,000	0	13,207,000	0	13,207,000	
空調衛生設備保守	2,600,000		2,600,000		2,600,000	
消防設備保守	350,000		350,000		350,000	
電気設備保守	7,297,000		7,297,000		7,297,000	
害虫駆除清掃保守	260,000		260,000		260,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	2,700,000		2,700,000		2,700,000	ボイラー、自家発電、ろ過器、冷水器、中央監視盤、エレベーター ほか
共益費	8,002,000		8,002,000		8,002,000	ゴミ処理委託、リネン、マット交換 ほか
<b>公租公課</b>	<b>4,237,000</b>	<b>0</b>	<b>4,237,000</b>	<b>0</b>	<b>4,237,000</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	4,237,000		4,237,000		4,237,000	
印紙税	0		0		0	
その他 ( )	0		0		0	
<b>事務経費 (計算根拠を説明欄に記)</b>	<b>75,000</b>	<b>0</b>	<b>75,000</b>	<b>0</b>	<b>75,000</b>	
本部分	0		0		0	
当該施設分	75,000		75,000		75,000	社労士、税理士謝金、会計システム保守委託費
<b>二一ズ対応費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>98,427,000</b>	<b>0</b>	<b>98,427,000</b>	<b>0</b>	<b>98,427,000</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

自主事業費収入	5,050,000			0		
自主事業費支出	5,405,000			0		
自主事業収支	355,000			0		

管理許可・目的外使用許可収入	500,000			0		
管理許可・目的外使用許可支出	300,000			0		
管理許可・目的外使用許可収支	200,000			0		

